

2022 7月

宮永岳彦記念美術館だより

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100



常設展示室

たまゆら昭和を想う

令和4年 3/16(水) ▶ 9/25(日)

「たまゆら(玉響)」とは、少しの間、ほんのしばらく、という意味の大和言葉です。喧騒を忘れ、この小さな美術館でほんのひととき心穏やかな時間を過ごしませんか？

展示作品より今月の一点

《テナーサクソによる日本流行歌史 第2集》
「昭和のはじめの歌<1>」



この作品は、昭和初期の歌を集めたレコードジャケットの原画です。

戦争や恐慌で鬱屈としたこの時期、その反動でカフェやダンスホールが急増しました。着物にエプロン姿の女性はカフェの女給と思われる。流行に敏感な宮永は、いち早く大正ロマンから昭和モダンのファッションを取り入れ、ふわりとパーマを施した髪型にイヤリングという粋な女性を描きました。

また、女性の魅惑的なまなざしと、微かに歯の見えるふっくらとした唇から、色気を目と口で表現した宮永の特徴がうかがえます。そして背景のカラフルな絵の具のぼかしは、華やかな反面、混沌としたこの時代の複雑さを漂わせ、独特な世界観を演出しています。

レコードジャケット原画 制作年不明

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料



美術館へのアクセス

- ◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分
- ◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

7月の休館日：4日(月) 11日(月) 19日(火) 25日(月)

市民ギャラリーのご案内

入場無料

KEI 押し花倶楽部 押し花展示会

7月16日(土)~7月18日(月・祝)

10:00~17:00 (最終日16:00まで)

花が好き!! そんな仲間たちが身近な草花を使い押し花にしました。生花とは一味違う魅力をお楽しみください。

千田肇 個展

7月20日(水)~7月24日(日)

10:00~17:00 (初日13:00から 最終日16:00まで)

絵画と立体作品を展示します。制作を始めると、「彼ら」が勝手に動き出し、増殖をはじめ…そんな作品です。

本山俊雄 四季の風景画展

7月26日(火)~7月31日(日)

10:00~17:00 (初日13:00から 最終日16:00まで)

四季折々の風景画(油絵) F50~F6号まで大小20点を展示致します。ご高覧頂ければ幸いです。

8月の市民ギャラリー展覧会の予定

スケッチ倶楽部 しろひげ塾(絵画)

8月5日(金)~8月12日(金)

秦野美術協会(絵画)

8月31日(水)~9月4日(日)

- ※7月1日(金)から2023年1月分までの予約を受け付けています。
- ※新型コロナウイルスの影響により、催し物の予定が急遽変更になる場合があります。ご来館の際は、お気軽に美術館にお問い合わせください。



宮永岳彦の描いたレコードジャケット

テナーサクソによる日本流行歌史 第1集
「明治・大正篇」

明治時代から急速に洋風文化が浸透した大正時代。人力車、鹿鳴館の舞踏会、ガス灯は、いずれもこの時代のハイカラな文明を象徴するものです。

昭和に入る前のほんのひと時、社会全体が明るく、高揚した雰囲気を感じられる作品です。



※7月5日(火)~9月4日(日)は17時閉館(入館は16:30まで)になります(上記期間、弘法の里湯は工事のため休業です)。